

(参考様式3)

会 議 録

会議の名称	第15回サンパルネ市民運営会議				
開催日時	平成27年1月30日(金)午後7時～8時30分まで				
開催場所	東村山市市民ステーション「サンパルネ」2階コンベンションホール				
出席者 及び欠席者	●出席者： (委員) 吉野卓夫会長・浅谷哲也委員・宮崎真吾委員・市川暢男委員・金澤紀男委員・比留間恵美子委員・関澤高親委員・金子茂生委員・東京ドームグループ和島昭男支配人・田中康道健康福祉部次長・清水信幸市民部次長 (市事務局) 東京ドームグループー富田副支配人・空閑健康課長・鈴木庶務係長・深井主事 ●欠席者： 小山仙蔵委員・石坂徳康委員・伊澤正二郎委員				
傍聴の可否	可	傍聴不可の場合はその理由		傍聴者数	なし
会議次第	1) 開会 2) 挨拶 3) 議題 サンパルネ開設より5年を経過してこれまでの経過とこれからの展望 ①地域サービス窓口 ②健康増進施設・集会施設 ③産業・観光案内コーナー				
問い合わせ先	健康福祉部健康課庶務係 担当者 鈴木、深井 電話番号 042-393-5111(内線3213) ファックス番号 042-394-7399				
会 議 経 過					
課長挨拶 (省略) 会長挨拶 (省略) 議題①地域サービス窓口 ○事務局より 事前にお配りした資料に基づいて説明いたします。東村山市地域窓口サービス利					

利用者数についてですが、21年度の下半期から開設されまして2214件、22年度には3,298件、25年度には6,000件とグラフのように年々利用者数の増加が見込めています。21年度の開設当初に関しては地域サービス窓口の知名度がまだ低かった影響などからすくなかったものの22年度上半期あたりから22年度下半期にかけて緩やかに一定の割合で増加の傾向が見られます。25年度には過去最高の利用者数が見て取れますが、これに関しては資料にも書かれています通りサンパルネにおいて選挙の期日前投票が行われるようになり、市民の方への認知度が高まったと推測されます。またこの西口地域サービス窓口と他の地域サービス窓口とをグラフで比較してみました。開設当初から25年度までの利用者の合計で西口では39,364件となっております。これに次いで秋津文化センターの利用者数は29,185件となっております。

これからの先の展望としましては現在も19時半まで窓口は開設されており、市役所の営業時間外でもサービスを利用できるという利点をアピールしより多くの市民の方に満足のいくサービスを提供していきたいと思っております。

○会長

今御説明ありました点についてご質問がありましたらお願いします。

○委員

秋津文化センターなどの地域窓口サービスは専任で業務を行っているわけですか？

○事務局

専任で業務を行っています。

○委員

その際、何人体制で行っているのですか？

○事務局

状況にもよりますが3名で行っています。

○委員

3名で運営をしていて、先ほどの説明のあった件数をこなすのは採算としてはどのようにお考えなのでしょうか？

○事務局

まず窓口として何名、何件といった目標数値は設定しておりません。ただ窓口を開設するにあたり、どれほどの利用者数があるかという心配はありました。たとえば利用者数の少ない窓口も先ほどの表グラフを見ていただければわかると思いますが一概に多いから良い少ないから駄目ということではなく、できるだけ多くの市民の方がより良いサービスを受けていただけることを考えております。

○委員

サンパルネ以外の地域サービス窓口の業務も専任で行っているのか？

○事務局

例えば秋津文化センターにおいては公民館と図書館の職員、そしてサービス窓口の専任として主に再任用の職員など常設しております。また専任の方については各地域サービス窓口を持ち回りで担当していただいております。

○委員

今後業務として増やす事などは考えているか？

○事務局

業務としての幅を広げることは考えておりません。現在行われている市民課の業務をメインとして、納税や課税証明書の発行、母子手帳の発行や飼い犬の登録業務

など多岐にわたっています。

○委員

今後、広報周知という面でどのような窓口業務を行っているなど市民に知ってもらうための工夫は考えているか？

○事務局

現在は主に市報やホームページでお知らせをしております。また電話でのお問い合わせがあった場合など、市役所の営業時間外に利用希望がある方などにはインフォメーションをしております。

○委員

例えば図書の貸し出しなど、他にもこれから確定申告の時期になりますが、サンパルネを利用することができれば混雑も緩和できるかなと思います。

○委員

増えている特徴、何が多いとかあるのか？ 7時半で閉まるには理由があるのか？

○事務局

特徴については分からないが、時間外での業務は多い。システム上の問題はないかと思うが、条例上で定められている。

○会長

その点については行政側で検討していただければと思います。
では次の項目に移りたいと思います。

議題②健康増進施設・集会施設

○東京ドームグループ

健康増進施設及び集会施設の利用者数についてご説明いたします。21年度の下半期から26年度の上半期までの第1期の指定管理期間を終えまして26年度下半期より改めて指定管理を任せただけの事になりました。

この5年間の間には東北の大震災もありましたが、徐々にではありますが利用者は増加の傾向にあります。21年度の当初はいわゆる運動弱者や運動初心者がほとんどでした。メディカルチェックは、無料キャンペーンなどを実施したこともあり、利用者の割に受診の数も多かったのですが、有料での検査の継続は難しいのか、現在のような推移になったと思われます。

当初の計画では1日に300人の利用、年間で10万人の目標を掲げていました。一部スタジオ利用者とマシンジム利用者で重複する部分もありますが25年度においては10万人を超える利用者を達成することができました。男女比においては、他の同様の施設では圧倒的に女性の比率が高いのですが、ほとんど男性女性の比率は変わらず、また年齢層では65歳以上の方の割合も多いのが、この施設の特長です。市内外の人数比は25年度で市内89%、市外11%で、開設当初から変わりありません。東村山市スポーツセンターでは市内外の利用制限がありますが、サンパルネでは利用制限をせず、提案として東村山駅の駅近という利点を生かし市外の方にも利用していただく内容となっております。

続いて集会施設については、稼働率で、26年度現在、コンベンションホールが53%、会議室が56%であります。当初より稼働率を上げることを目標に提言書・アイデア・ご意見をいただき、部分的にも企業の営利目的も認めて運営を行っています。定期利用の団体も増えておりますが60%未満であります。ただ朝の6時からの早朝枠等、埋まりにくい現状もあり数字に反映されない部分もございます。コ

ンベンションホールの付帯設備として開業前の市民のアンケートでカラオケ機器の設置の提案がありましたが、利用が少なく、自主事業としまして「健康カラオケ大会」などを開催し利用を促進しております。

市民交流スペースは、カフェラウンジは、前年度より東村山市内の給食センターに業務委託しました。ランチなども非常に好評で利用者も増加しております。ただ夕方からの営業に関しては昼間より少ない傾向にあります。ボディケアでは「ささら」という店舗で、こちらについても業者を変えまして、様々なキャンペーンが功を奏したのか、26年度においては前年度約2,000件から約3,000件と増加があり好評をいただいております。問題点として、市民ギャラリーについてはなかなか定着していない現状があります。理由としては、ちょうどトイレへの通路となっていて、そこだけに立ち寄られるほどのスペースでもないことが挙げられます。利用者の方には2週間ほど絵画などを飾られるかたもおり、その際にはテーブルや椅子などの提供も行っています。ギャラリーの利用がない期間には指定管理者として利用者に向けていただけるような展示をしています。

託児施設については、子育て世代の方にも安心して運動していただけるよう設置をしております。利用者の中にはリピーターの方もいらっしゃいますが、例えば時間区分の問題や食事などの提供に関して難しい面があり今後の課題であると考えています。2階の店舗に2歳以下の託児施設がオープンしましたが、サンパルネでは2歳以上ということもあり、そこで住み分けができればとも考えております。

26年度の9月から10月にかけて指定管理の切り替わり時に、マシンのメンテナンスなども必要なことから一部施設のリニューアルをいたしました。スタジオに関しても、高齢者の方や運動初心者の方なども気軽に利用できるようなプログラムを増やすなどいたしました。幸い、10月以降の利用者にも好評で盛り上がりしております。

また地域の関連団体とも連携を深め、例えば健康課との連携においては特定保健指導の教室として、その後のプログラムの提案。子ども総務課においては、子育て総合支援センターころころの森で「マタニティーヨガ」や親子で楽しめる「親子体操」なども行っています。他には高齢介護課と連携し、介護予防の視点で運動を促す事業なども現在協議を重ねています。サンパルネでは、誰でも安全に参加できるようなプログラムを開発し、より多くの方のニーズに応えていきたいと思っております。またそれらを通して、健康増進施設として認知していただけるよう努力していきたいと思っております。

○委員

利用者数についてですが、会議室の25年度の人数が前年度に比べ大幅に多い何が理由か。

○事務局

これに関しては異論もあるかもしれませんが、選挙の期日前投票の人数が反映されています。人数のカウントは選挙管理委員会のデータを反映しています。またホールの利用人数については、主催者の申告に基づいた数字となっています。

○委員

年間で行っている文化講座はどのような頻度で行っているか。

○事務局

文化教室は年間でスケジュールを立てています。月に1、2回程度です。当初は一般利用者の会議室の利用枠が少ないというご意見があったことなどから、空いている利用枠を使い開催している。

○委員

マシンの入れ替え等の費用については市の費用なのか。

○事務局

指定管理料で賄っています。ほとんどのマシンがリースで5年間の契約になっています。

○委員

市民ギャラリーとして機能していないのではないかと。何か別の形では利用できないか。

○事務局

目標としては達してはいないが無料ということもあり、利用者からは喜んでいただいているという実績はあります。代替えの場所があればいいのですが、そのニーズをなくしてしまうのではなく、より有効的に活用できることを考えることが大切だと考えています。

また設計当初の計画として、文化的な空間を作るということで補助金が出されたという経緯もあり、なかなか無くしてしまうことが難しいという側面もあります。

○委員

美住町側のエレベーターは実際には駐車場に行くことぐらいしか利用価値がないが、そちらからアクセスできるようにしたならば有効に活用できるのではないかと。

○事務局

それは難しいと思います。理由としてまず、メインとなる運動施設のスペースがなくなるということがあります。そこを通路にしてしまうことによりセキュリティの問題も発生します。

○会長

市民ギャラリーについては課題もありますが、事務局のほうで検討していただきたいと思います。他になれば次の議題に移りたいと思います。

議題③産業・観光案内コーナー

○事務局

産業観光案内コーナーについて説明いたします。観光産業案内コーナー来場者数についてですが、全体的に初年度から減少傾向にあります。22年度以降の6月に注目していただきたいのですが、6月は菖蒲祭りの開催時期であり22年度においては様々なキャンペーンを行った経緯から特に来場者数が多い現象がありました。それ以降の年度においては徐々に増加の傾向は多くなっています。また26年度の11月には市内の産業PRとして西武鉄道との事業で「ウォーキング&ハイキング」を開催しました。その際コンベンションホールおよび会議室と市民ホールをゴール地点として、そこで「東村山特産市」を開催いたしました。「ウォーキング&ハイキング」の参加者は1835名、特産市には約2000人の来場者がありました。市民ホールでは東村山市市政50周年、川越鉄道120周年記念のパネル展も開催し盛り上がりを見せました。

今後の展望としましては、6月の菖蒲祭りのシーズンだけではなく西武鉄道などとも連携しサンパルネから東村山の観光、産業を発信していきたいと考えております。

○委員

菖蒲祭りの時期だけでなく11月にもこのようなイベントを開催できたことは

評価するが、それ以外の活動に関しては施設をうまく活用できていないのではない
か。レイアウト一つ見ても代わり映えがなく工夫をしていただきたい。せっかく東
村山50景なども募集したのだから活用してみたいはいかがだろうか。

○会長

私もたまに立ち寄らせていただくことがあります。その度に色々と目新しく見さ
せてもらっています。より一層の工夫を期待しています。

○委員

西武鉄道のウォーキングについて、年に4回パンフレットが発行されている。も
っと市として西武と連携し開催してほしい。また東村山50景にしても、1回では
回りきれない。西武鉄道と連携するにしても、東村山市として独自にツアーなど
を行うにしても、産業観光コーナーや観光ボランティアや商工会などと連携して企画
をしてほしい。鎌倉街道や東村山にある浄水場などもあるので参考にいただきたい。

○会長

いい案だと思いますが、他に指摘などはありますか。

○委員

JR からも私にイベントの提案があったが、東村山にその受け入れる体制がない
と言われた。6月には菖蒲祭りに合わせて新秋津駅からのウォーキングの話があっ
た。それには人員が必要になる。市として人的なバックアップ等があればいくらで
も可能だと思う。それに対しボランティアの体制も整っている。(民間では) その
ような協力がなければせっかくの話もなくなってしまうのではないか。それには東
村山市をあげて盛り上げるという意思表示が必要だと感じている。

○委員

市長の公約として観光地として、東村山を盛り上げるということが掲げられ、観
光振興連絡会も立ち上がってはいるが、先の委員の言うように非常に市として意思
が足りないと思う。市長が産業振興課を窓口にして働きかけてほしい。せっかく鉄
道会社からの提案があるのだから活かしてほしい。

○会長

このようなご意見もありますので行政側で、検討してみてください。他に質問あ
りますか。他にないようでしたら閉会したいと思います。

○事務局

次回開催については日程が決まり次第順次お知らせしたいと思います。